

1、前半(1:00~3:00)『生活者としての外国人』に必要な情報について、提供と収集の側面から考え、関わろう』は、いかがでしたか

- ・よい 25
- ・ふつう 2
- ・あまりよくない 1

2、前半の感想をお願いします。

- ・浜松市の在住外国人に対する情報提供について具体的に知ることが出来て良かったです。コロナ禍のように状況が目まぐるしく変わっていく…それに合わせて発信する情報も変えていかねばならない、しかもスピーディーに。なにげなく見させてもらっていた情報の裏には数々のご苦労と工夫があると知り、情報を受け取る側として、これからはもっと感謝の気持ちを持って受け取ろうと心に誓いました。また、やさしい日本語の文章より耳で聞いて目で見て理解できる情報をもらったほうがありがたいとのこと確かにそう思います。日本社会の情報は文章がやたら多いと感じるので、特に国や自治体からの情報も発信の仕方を変えていく、広報も紙媒体を動画をたくさん入れて今以上にデジタル配信に力を入れる(フェイスブックやインスタを利用)などコロナ禍を機に良い方向へ変わっていけばと思います。今後、自分自身も情報発信する側になった際に備えて、SNS 講座を受講してみたいと思います。
- ・コロナ対策の情報提供は、不十分ですぐに変わったりしたので、外国人への対応は大変だったと思います。
- ・HICEは、浜松に住む外国人の方に、きめ細かい情報を提供されていると感じました。特にオンラインで、情報を伝える方法が参考になりました。
- ・HICE の皆さんがコロナなど、その時々に必要な情報をキャッチして、多言語化して提供されていることに感心しました。自治体によって外国人住民の多い少ないでも、多言語情報の充実度は全く異なると思います。全国的にも情報共有して、少ない労力でより広く情報が行き渡るようになるといいと思いました。
- ・ナガイサの情報提供の方法について知ることができてよかった。
- ・もう少し、翻訳をかける情報の正確さや追跡の方法を知りたかったです。助成金を調べる情報は役に立ちそうですが、各行政と絡まないといけない案件もあると思いますので、そこらへんどうやって FG(原文ママ。正しくは FN?)さんがされているのかも知りたいです。
- ・浜松市の取組は全国の先駆けを今回も感じました。私が取得した静岡県外国人子ども支援員の指導者は、浜松市の NPO でした。
- ・良かったです。
- ・色々な事を試行錯誤しながらやられていることが、ひしひしと伝わってきました。

- ・情報の受入れ→理解→かみ砕き→適正に変換加工→発信、その姿勢と方法は並大抵ではないと驚愕しました。私がお世話になっている国際交流協会の皆さんは日常業務に追われ、この活動内容を聞いたら驚くばかりだと想像します。定時の勤務時間で収まっているんだろうか、と心配になりました。
- ・浜松はとても充実した体制があることがよくわかりました
- ・最新の情報を正確に伝えていくことの大切さを再確認しました。
- ・hice の活動内容がよくわかりました。
- ・ナガイサさんの活動がどのように市と連携して活動しているのか、運営資金や情報発信について知りたいと思っていたので、今回知ることができて良かったです。HICE さんが情報発信など外国人のために予算も時間もたくさん使っているのだと思い、驚きました。
- ・HICE の活動についてうかがい大変参考になりました。在住外国人の力強い味方ですね。私は愛知県豊川市在住ですがまだまだ遅れていると感じます。コロナワクチンの接種予約時も外国人向けの案内が無くどうしたらよいかを聞かれ、日本語教室で広報を見せて説明していました。鈴木先生ありがとうございました。
- ・HICE の活動について、もう少し伺いたいことがありました。
- ・口承文化だということになるほどと感じました。大阪でも国際交流センターがビデオ制作に協力してくれる外国人の方を募集しているようです。情報の共有の仕方、様々な工夫を凝らしているのって勉強になりました。
- ・鈴木さんのお話は、とてもわかりやすく浜松市全体のチーム的な取り組み全体も理解でき今回は情報提供の取り組みの内部もとても詳細まで網羅して大変充実した内容でした。自分のいる市のホームページ、国際友好協会は自動翻訳機能付きのみとやさしい日本語のみの提供ですが丁寧に浜松市が行なっているのを知りこの状態はベストではないと感じました。
- ・日本語教室で Facebook ページ、メッセージグループ、ライングループなど SNS を多く活用しているので、セキュリティ等の知識の必要性を感じました。
- ・SNS を利用した情報発信については、発信側の責任の所在について不安に思うことが多く、尻込みしがちでした。本日の発表をお聞きして、一歩を踏み出したいと感じました。
- ・HICE の事業内容が分かり勉強になりました。
- ・HICE の情報発信の方法など、外国人支援員と協力していて、とてもすばらしいと思いました。
- ・日本人も混乱する災害やコロナなどの非常事態の時、ことばや文化的な違いがある方々への情報提供はとても重要です。正確で迅速な情報提供の裏話をお聞きでき、参考になりました。個人のベースとしても、どのような情報があるのかを知り、お手伝いできるようにと感じました。
- ・コロナ禍、災害時等の多言語情報提供はいくつか知っていましたが、Facebook が一番有効というのは、初めて知りました。Facebook で多言語情報を上げている方がいらっしゃ

るので、そういうのを必要な人に拡散するというのも、一つの大切な手段ですね。

- ・これからの時代にとても重要で必要な講座でした。
- ・地元の国際交流協会は、SNS 活用が苦手なように感じるので、一緒に聞いてほしかった（笑）

3、後半(3:30～5:30)「災害への備えを、『地域』日本語教育で取り上げる意義について理解を深めよう」は、いかがでしたか

- ・よい 27
- ・ふつう 1
- ・あまりよくない 0

4、後半の感想をお願いします。

- ・まず、防災＝避難訓練という安易な考えを改めたいと今日の講座を通して思いました。避難訓練の前に日本語教室でやれること、災害を知る、災害について話す、災害に対する危機意識を高める、防災に関わる言葉を勉強する、国それぞれの避難の仕方(建物から出ない問題など)を確認する、教室で出来ることはたくさんあると気づきました。ハザードマップに対しても勉強不足ですので、ハザードマップ講座を受講しようかと検討中です。
- ・外国人を地域の住民として受け入れるということが大切だと思いました。
- ・東北大震災については、TVなどでよく見ていたつもりですが、実際に体験した中国人の方のお話は、生々しいものがあり心に残りました。こういう経験談を、翻訳して他の国から来た外国人のかたに聞かせてあげてほしいです。私自身、よその県から引っ越してきた人間です。私自身も不安でしたが、静岡に住むというと「地震大丈夫？」と訊かれたくらい他県の人でも東海トラフが危ないと思っています。でも静岡に住んでみると「ここはないよ。」という人が多くてびっくりしました。さすがに東北大震災後、自治体は真剣に取り組もうしているように思います。でも、まだまだ日本人(私も含めて)でも備えが甘いと思っています。せめて、避難訓練は外国人日本人関係なく、参加しましょう！
- ・吉田さんの体験談の中で、避難所での外国人に関するトラブルについて、理由がわかれば和解できることが多いことがわかりました。日本人の間でも同じかもしれませんが、何か問題が起こったときに、どうしてその行動をしたのか、丁寧に聞き取って仲裁していく努力をしていきたいと思いました。
- ・防災教育について、色々な情報を学ぶことができてよかった。役に立つ内容だった。
- ・私自身が今後やりたいことなので、とても参考になりました。

- ・今回の中国人の方の動画は、新たな問題提起と感じました。私自身、日本人(成人)の健常者は、災害に関してある意味「自己責任」の思いがあります。なぜなら自ら学び、行動することが出来るから。以前は事業所等で防災訓練をしましたが、今は災害弱者を念頭に置いています。福祉防災(避難所等)の中には外国人も入りますので、意識してみます。グループセッションは、とても楽しかったです。時間は足りないものの、とても有意義な時間でした。
- ・コロナ禍前は、インバウンドを見込んでいた日本。しかし対策されないまま進んでしまう事の恐ろしさを感じています。夢と希望を持って来日される方に、残念な想いをさせたくはありません。そういう意味では先進国でありたい。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・松岡先生のお話、大好きです。いつもながらの安定感と寛容、男前感、冷静さ、温かさ、いろんな愛が伝わってきます。特にすばらしいと思うのは、異文化の立場を表現するのに「うさぎ」と「カエル」を例にとえ、人のイラストを使わないところに感動します。生き物の特性としての「違い」を平和に表していて大好きです。
- ・松岡先生の講義は毎回とても興味深く、今日は特に貴重な被災体験も伺えて大変良い勉強になりました。他の参加者さんと話せる機会も与えてくださるのがとても良いです。
- ・知識として知るだけではなく体験できる教室を作っていきたいと思いまいた。動画拝聴してショッキングでした。改めて防災の大切さを感じました。
- ・東日本大震災の映像や実際の体験談など本当に私たちが知るべき情報を多く共有してくださりありがとうございました。震災から10年、私も埼玉で被災しましたが、だんだんと意識が薄れてしまっているなと感じます。来るかもしれないときに備えて、地域も外国人も巻き込んで備えていきたいなと思いました。
- ・地震の怖さを知らなくて「地面が揺れて面白い」という外国人の 実習生がいました。「指定避難所」「給水所」等知らない方も多いと思います。日本語教室でハザードマップを一緒に作りながら学んでいきたいと思います。命を守る一番大事な事ですね。松岡先生ありがとうございました。
- ・中国出身の方の発言が様々な課題を提供してくれました。ありがとうございました。
- ・実際に被災された方のお話をお伺いでき、大変大きな気づきをいただきました。辛いご経験を共有してくださったことに感謝致します。異文化間理解をどうしたら深めることができるのかということや自分自身のハザードマップの重要性、お互い様という気持ちはどうしたら広まるかなど色々と考えさせられました。グループでの意見交換も有意義な時間になりました。
- ・実際被災された外国人のお話は初めてで印象的でした。先生の避難訓練は外国人も一緒に行うべきという点などとても共感し私も自分の地域でもこの今日頂いた知識と気づきを生かして活動して参りたいと思います。
- ・中国人留学生の東北地震津波の経験を話す動画はとても心に響く動画でした。外国人が自国で受けた防災の常識が日本と違う場合があるということ等は、違う文化の人と体験を共

有し比較することで我々の防災知識も知らず知らずのうちにステレオタイプになったり陳腐になったりする場合の注意喚起になると思いました。阪神淡路大震災は古い木造家屋の崩壊の下敷きの圧死、通電回復タイムラグによる火災被害、東北は津波や原発爆発被害でそれぞれ被害状況も違いました。避難や避難所での苦痛も同じ文化と捉える日本人でも老若男女それぞれ異文化とも考えられます。外国人との防災は地域日本語教育にフレキシブルな視点をもたらすテーマになると思います。

- ・改めて防災教育の必要性を感じました。避難所での外国人トラブルの話は身につまされる思いです。お互いに切羽詰まった状況だとはいえ、外国人への理解が必要ですね。
- ・いつ起きるかわからない災害について、平常時から考えておくことの重要性を改めて感じました。顔の見える関係性を作っておくことも、とても大事だと思います。ブレイクアウトセッションでは、さまざまな立場からの意見をお聞きすることができてとても有意義な時間を持たせていただき、感謝申し上げます。
- ・松岡先生のお話は以前も拝聴してわかりやすくてお名前覚えていました。(自分も JICA ボランティア OB なので親近感もあります)今回のお話もとてもよかったです。ありがとうございました。それに、吉田さんの被災した外国人としての貴重なお話を聴かせていただき、ありがとうございました。
- ・災害時の備えは、日本人も大切ですが、地震を知らない人には、先ずどのようなものなのかの理解から必要であること、また、単に語彙を学ぶのではなく、実践的な訓練や自分自身の災害への備えをすることが大切ですね。日本語教室や国際交流センター、地域の自治体、小学校等、多くの施設で、このような取り組みができることの重要性を感じました。日頃からの付き合いがあることの大切です。国籍、年齢にかかわらず地域の住民としての交流がもてる社会になることを願います。
- ・実際に体験された方のお話が聞けてとても良かったです。でも、とても胸が苦しくなりました。私の周りにも災害の時の日本語や日本の常識等についてわからない外国の方がたくさんいますので、伝えたいと思います。
- ・久しぶりに津波の映像を見ました。災害が少ない(と言われている)地域に住んでいるので、油断することなく備えていきたいです。

5、その他、事務局にご質問のある方はどうぞ。

- ・スピーチコンテストは私達の教室に来ていた技能実習生の何人かが、実習先監理団体主催コンテストとか実習先企業で実習終了時に行うため、あるいは NHK 主催の外国人スピーチコンテスト挑戦などで経験しました。我々も、彼らの希望で練習や、作文に付き合ってみて、日本人が望む外国人像がどのようなものであるか等、善し悪しは別に考える機会を得ました。貴団体主催も色々な波及効果が期待できると思います。

- ・タガログのスピーチコンテスト、ステキですね。私は会場に伺えないので参加できませんが、楽しみです。
- ・質問ではないのですが、前回のフィリピンの歴史のお話の感想の続きになります。この感想を書いていたまさにその時に、NHKBS1で「幸せなら手をたたこう」の歌を作詞された方のドキュメンタリーを放送していました。その作詞家の方は、戦後のフィリピンで数年ボランティア活動をされたそうで、その活動での経験が「幸せなら手をたたこう」の作詞につながったというドキュメンタリーだったのですが、戦争で日本軍に家族を皆殺しにされたフィリピンの若者や、すれ違った日本軍におじぎをしなかったためビンタされ続けたというフィリピンのご老人、日本兵がフィリピン人女性に性的暴行を行っていた話し…も放送されていて、前回の講座のあと記憶が新しい時に放送を見たことでより心に重くのしかかってきました。もっと学習者さんの国の歴史も勉強しなくてはいけないと強く思いましたし、日本人が昔ひどいことをしたという歴史を私達日本人は絶対に忘れてはいけない、こういう歴史を知らない日本人に伝えていく必要があると思いました。
- ・前半も後半もとても興味深い話題でした。ありがとうございました！
- ・吉田さんのスライドは、今後何か防災時にお願いしたら共有いただけるものでしょうか？
- ・今回の善き計らいに感謝を致します。第二部のグループセッションで避難所について話がとても盛り上がりました。同じセッションに参加した男性と連絡先交換をしたいので、フィリピンナガイサに間を取り持ってほしいです。宜しくお願い致します。日本の避難所は、松岡先生がおっしゃる様に個別運営が主流です。最近になって福祉避難所が少しずつですが外国人となるとまだハードルが高いのが現状です。私の仲間で、横浜市で外国人支援しながら防災活動している方がいますが、口を揃えて「難しい」と言います。前回の複言語複文化主義の発想を、どう日本の避難所に取り入れられるかを考えてみたいものです。
- ・情報の取捨選択権は聴衆側にあれば問題ないと思います。
- ・私の地区の国際交流協会の毎年恒例、国際交流フェスティバルが昨年は中止、来年2月はオンライン開催になりました。オンラインで出来る、おすすめ企画、これだったらできるよ、面白いよ、があったらご教示ください。私の中では、Zoomのブレイクアウトルーム機能で「異文化理解オリエンテーリングができる」といいなって考えています。いろんな部屋にいろんな仕掛けやクイズ、いろんな国籍の外国人がまっているんです。
- ・いつもありがとうございます
- ・いつも貴重なプログラムを本当にありがとうございます。引き続きどうぞよろしくお願い致します。次回も楽しみにしております。
- ・いつも内容の濃いテーマを提供いただきありがとうございます。
- ・『生活者としての外国人』に必要な情報についての資料をぜひ頂きたいです。覚えきれませんでしたので。よろしくお願いいたします。